旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時：　　　年　　月　　日　　　午前・午後　　時

調査者氏名：

Ⅰ）建築物の概要

1. 建築物の所有者：
2. 建築物所在地：　海老名市
3. 階数：　　　　　階

Ⅱ）前提条件の確認（いずれも必須）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　チェック欄

|  |  |
| --- | --- |
| 木造住宅である |  |
| 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した |  |

Ⅲ）一見して倒壊の危険性があると判断できる項目

（１以上ある場合は投下機の危険性があると判断）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建物全体 | 全体又は一部に崩壊がある |  |
| 全体又は一部に傾斜や変形がある |  |
| 地盤・基礎 | 地盤沈下が生じている |  |
| 基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である |  |
| 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる |  |
| 老朽・不朽 | 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる |  |

Ⅳ）壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

（イ）　　　　　（ロ）　　　　（ハ）　　　　　（ニ）　　　（ホ）壁の割合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 方向 | 壁の長さ（ｍ） | 建面（ｍ２） | イ／ロ | 必要値 | ハ／ニ |
| Ｘ |  |  |  |  |  |
| Ｙ |  |  |  |  |  |

Ⅳ）壁の割合　記入用紙

壁の長さの計測



（イ）壁の長さの合計

①Ｘ（横）方向　　　　　　　　　　　　　　　　　②Ｙ（縦）方向

|  |
| --- |
|  |

ｍ

|  |
| --- |
|  |

ｍ

1. ②のうち**小さいほう**を記入してください

|  |
| --- |
| イ |

ｍ

（ロ）面積

|  |
| --- |
| ロ |

ｍ２

（ハ）単位面積あたりの壁の長さ

|  |
| --- |
| イ |

　　÷

|  |
| --- |
| ロ |

　　＝

|  |
| --- |
| ハ |

（二）必要な壁の長さ

|  |
| --- |
| ニ |

ｍ

下の表から該当するものを選んで記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 階数  屋根の種類 | 平　家 | ２階建 |
| 軽い屋根  （鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等） | ０．２０ | ０．５２ |
| 重い屋根  （かや葺・瓦葺等） | ０．２７ | ０．５９ |

（ホ）壁の割合

|  |
| --- |
| ハ |

　　÷

|  |
| --- |
| ニ |

　　＝

|  |
| --- |
| ホ |